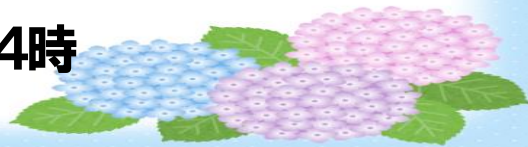


毎月第三日曜日

楽しい話し合い・相談・情報交換ができる

オレンジカフェ静岡

6月16日 午後2時～4時

6月の
講話

「認知症 付き合い方と予防・治療」

小尾 智一 さん 静岡てんかん・神経医療センター 副院長

一九七二年、有吉佐和子原作「恍惚の人」が発表されましたが、周囲を見てもそのような場面に遭遇することはあまりなく、小説の世界なのだなと思う人が多かったと思います。

一九八二年に老人保健法が制定され、認知症施策がスタートしています。この頃は大学生でしたが、「認知症が増えていき、二〇二五年には介護されていない認知症患者でいっぱいになる」という予測を講義で聞きました。そうなのかなあと感じるだけでした。

二〇〇〇年に現在の介護保険制度がスタートし、二〇〇二年から当院でも物忘れ外来を始めましたが、患者さんはとても少なく、他の診療の

比重がずっと大きかったのを覚えています。また、認知症という診断に対する拒否反応は相当なもので、本人だけでなくご家族の怒りや狼狽を多く経験していました。

二〇一二年に認知症施策推進五カ年計画（オレンジプラン）が始まり、二〇一四年からは当院が静岡市の認知症疾患医療センターに指定され、受診者が飛躍的に増えました。以後、認知症に対するアレルギーは減りましたが現在も残っています。その理由の多くは有効な治療薬がないことによります。一九九九年に世界初のアルツハイマー病のお薬であるアリセプト®（ドネペジル）が発売されましたが、根本的な治療薬ではありませんでした。しかし、二〇二三年一二月に、今や認知症の原因の六〇%以上を占めるアルツハイマー病の新薬であるレカネマブが上市されました。これは、アルツハイマー病の原因とされる脳のアミロイドを除去する作用があります。認知症治療はついに新しい時代に入ったのです。



小尾智一 先生

プロフィール

- ・静岡てんかん・神経医療センター 副院長
- ・静岡市認知症疾患医療センター長

今月は会場のみの開催になります。

今月は、いつものように城東コミュニティプラザ・ハピスポで開催となります。オンラインから参加はできません。

会場参加希望の方は、開催時刻の二時までに、会場である城東コミュニティプラザ・ハピスポまでお越しください。

申し込み不要です。参加費として百円をご用意致します。水分は各自ご持参をお願いします。

カフェのプログラム

一、ミニ講話 小尾智一先生

質疑応答

歓談

二、声のワークショップ 上藤美紀代さん

個別相談(荻野久美子さん)

今月の相談担当者

今月は城東ケアプランセンターから、荻野久美子さん(主任ケアマネジャー、栄養士)が城東ハピスポにいらして、相談にのってくださいます。

今後のオレンジカフェ予定

令和6年7月21日(日)

ミニ講話 河合孝彦さん

・三島市福祉応援大使

・ドラマワークファシリテーター

介護予防講座

『めんぼーくんの出張わはは』

～優しさを伝える技術を学びましょう～



河合孝彦さん

令和6年8月18日(日)

ミニ講話 八木宏晃さん

静岡県職員



会場の写真

会場 静岡市葵区城東町 34-14

城東コミュニティプラザ HapiSpo (ハピスポデイ和かな)

会場提供 **社会福祉法人静和会**

共催

NPO 法人ヒューマン・ケア支援機構

社会福祉法人静和会

連絡先 ☎ 090-8731-7647 (岩崎)

✉ shizuoka.orangecafe@gmail.com



バス: 静岡駅北口、5,6番からのすべてのバスで横内町静岡学園前または巴町下車。徒歩5分